

使用済燃料の取り出し

使用済燃料とは？

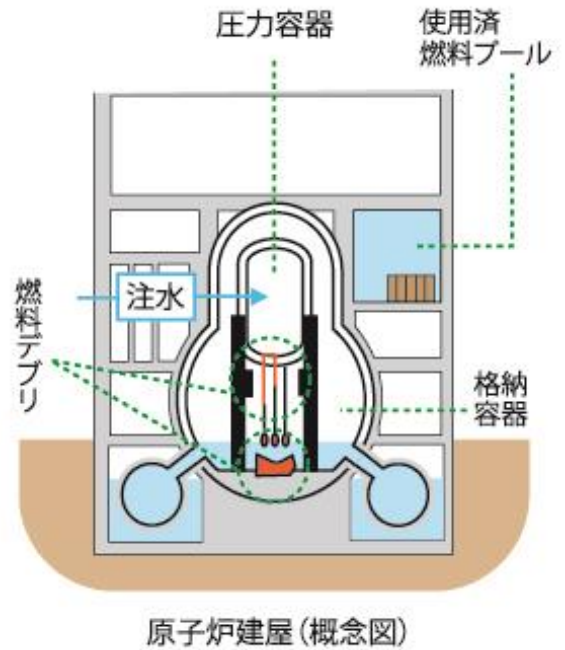
原子炉で発電に使用された燃料を「使用済燃料」と呼びます。

福島第一原子力発電所の各号機では、使用済燃料がプール内に貯蔵されており、それらを取り出すための作業が進められています。

使用済燃料プール内の 燃料体数

2018年3月現在

号機	1号機	2号機	3号機	4号機
燃料体数	392	615	566	0



4号機の使用済燃料の取り出し

福島第一原子力発電所の4号機は、事故当時定期検査中であり、すべての燃料がプール内にありました。プールの水位低下はなく、燃料の損傷はありませんでした。容器内で燃料が溶け出していません。

2014年12月にすべての燃料について、共用プール等への移送が完了しています。



使用済燃料の取り出し準備

1号機

2018年1月より、1号機の建屋最上階のガレキを撤去する作業が開始されました。



2号機

建屋最上階の解体に向け、放射性物質の飛散防止を目的として「前室」を設置しました。



3号機

3号機では建屋上部を覆うカバー設置が終了しました。2018年度中頃から使用済燃料の取り出しが開始される予定です。

設置開始 2017年7月31日

取扱機設置 2017年11月12日

設置完了 2018年2月21日

